

香川県保険医協会主催 歯科セミナーのご案内

スプリントの つくり方・使い方



講師 松香芳三先生

（徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野 教授）

座長 綾坂則夫先生（坂出市開業）

日時：2020年11月28日（土）19:00～21:00

会場：社会福祉総合センター7階第一中会議室（高松市番町1丁目10-35）

参加費：会員・スタッフ 3,000円 未入会員 10,000円

定員：30名（先着順） コロナ感染症の防止のため、事前に参加費をお振込み願います。

振込先：百十四銀行 本店営業部 普通 0595754 香川県保険医協会

会計 田中眞治（タカシンジ）

略歴

1988年 岡山大学歯学部卒業
1992年 岡山大学大学院終了（博士（歯学））
1992年 岡山大学助手
1996-1998年 UCLAレジデント
1997年 岡山大学講師
1999年 UCLA研究員
2002年 UCLA助教授
2005年 岡山大学助教授・准教授
2012年 徳島大学教授

【抄録】

顎関節症、睡眠時ブラキシズム、睡眠時無呼吸症候群などの治療においてスプリントを使用することは多くの先生方がご存知でしょうし、日常臨床で使用されている先生も多いと拝察します。ただ、中にはスプリントの選択、つくり方、使い方に関して疑問点を持たれている先生もいらっしゃるかもしれません。

日本顎関節学会の診療ガイドラインによれば、顎関節症の咀嚼筋痛障害患者に対しては初期治療としてスプリント製作を行い、短期間の経過観察を行うことが推奨されています。また、顎関節症のその他の病態においても、スプリントが使用されることが多くあります。そのスプリントのタイプとしましては、スタビライゼーションタイプが多く使用されますが、その他のタイプが使用されることもあります。睡眠時ブラキシズムを有する患者では、歯、歯周組織、補綴装置の保護などを目的としてスタビライゼーションタイプのスプリント（ナイトガード）を装着する機会も多くあります。さらに、睡眠時無呼吸症候群に対するオーラルアプライアンスの製作は医師から紹介を受けた歯科医師が行うことが一般的になっています。このように歯科臨床において多用されるスプリントですが、つくり方や使い方の実際に関しては、専門のトレーニングを受けた先生以外には、あまり知られていないこともあるようです。

今回の講演では、顎関節症の概略を解説し、スプリントを使用すべきか否かに関する選択基準、スタビライゼーションスプリントのスタンダードな作り方や使い方を手順に従って解説致します。また、睡眠時ブラキシズムや睡眠時無呼吸症候群の病態や治療法を紹介し、治療法のオプションであるナイトガードやオーラルアプライアンスのつくりかた、使い方も解説したいと考えています。今回の講演が先生方の診療に役立つことを希望しております。

お申込みは香川県保険医協会へFax下さい 087-802-1336

医院名	ご氏名	
ご住所	TEL	fax